政治史（日本）I

科目ナンバリング　POL-103
選択　　2単位

天日　隆彦

1. 授業の概要（ねらい）
近代日本における政治権力の生成と発展の過程をたどり、その特質を学ぶ。
主要テーマは政治史だが、外交史についても必要に応じて対象とする。

2. 授業の到達目標
近現代史の基礎知識を修得するとともに、歴史問題についてバランスのとれた判断力を身につける。なぜ日米開戦に至ったかについて説明できる。

3. 成績評価の方法および基準
最終試験80%、授業態度（宿題提出を含む）20%。

4. 教科書・参考文献
教科書
北岡伸一　『日本政治史』（有斐閣）
プリントを配布することもある。

5. 準備学修の内容
授業のポイントが理解できるよう宿題（主として選択・穴埋め式問題）を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項
歴史の大きな流れをつかむことに重点を置く。
授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。

7. 授業内容
【第1回】　幕末から明治へ
【第2回】　明治憲法体制の成立
【第3回】　議会政治の定着
【第4回】　日清・日露戦争
【第5回】　帝国の膨張
【第6回】　政党政治の発展
【第7回】　国際協調と政党内閣
【第8回】　中間まとめ
【第9回】　社会主義と無産政党
【第10回】　満州事変
【第11回】　天皇機関説事件と二・二六事件
【第12回】　日中戦争
【第13回】　日米開戦への道1
【第14回】　日米開戦への道2
【第15回】　全体のまとめとテスト